

科目番号	6	科目名	医療イノベーションの基礎	
英文科目名	Fundamentals for Medical Innovation			
大学・短期大学名	滋賀医科		大学	
連絡先	学務課学部教育支援係			
	TEL :	077-548-2068	FAX :	077-548-2799
担当教員	尾松 万里子 (医 学部 特別教授)			
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教室名	第1講義室	会場		
授業期間	2026年4月8日(水)～2026年7月29日(水) <毎週水曜日> 3 時限・講時 13 : 00 ~ 14 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)	-	%	
	レポート試験(期末)	60	%	
	平常点(出席・授業態度)	-	%	
	その他(発表)	40	%	
別途負担費用	なし あり()円			
その他特記事項	<p>最終の2回(グループワーク及び発表)は出席を必須とする。出席回数が11回以上(出席率70%以上)の場合は、期末レポート課題の提出資格を認める。なお、最終成績は期末レポート課題の評価(60%)にグループワーク発表(内容、発表資料の分かりやすさ、発表の仕方)の評価(40%)を加味して評価する。</p> <p>【以下、滋賀医科大学より、本学での受講にあたっての必要書類のお知らせ】 滋賀医科大学では、感染症等防止のため、環びわの単位互換制度により来学する他大学の学生(本学では「特別聴講学生」としています。)におかれても、派遣元の大学の健康診断書(胸部X線検査結果を含む)の提出が必要となります。なお、健康診断書は直近もの(新入生は春の健康診断受診後)で結構です。履修を希望される方は、提出のご準備をお願いいたします。</p>			
<p><講義概要・到達目標></p> <p>【講義概要】 この授業では、15回にわたって医療人としての専門教育だけでは学べない医療を支える外的な要因(産業界の考え方、コミュニケーションの取り方、製品開発の進め方、それらに関連する知的財産権や薬事規制など)を学習する。更に、自身の考えをまとめて他の人の伝える発表の仕方を学習し、実習する。 この一連の学習は、文部科学省の「次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXTプログラム)」を発展させるものとして実施する。一般的な経済活動の仕組みや視点を理解し、医療分野に限らず新しい「コト」にチャレンジし、自らの志を実現できる医療人の育成を目的とする。 1コマの授業の対して30分の予習と60分の復習を日常的に行い、休日などを利用して、さらに1コマあたり90分の復習が望まれます。</p> <p>【到達目標】 医学の発展はめざましく、それに対応するように医薬品や医療機器の分野でのイノベーション(革新的な製品やサービス等)が創出されてきており、医療人の医療知識・技術と共に最先端の医療を支える両輪として働いている。この授業では、自らが医療人となった際に広い視野で物事が捉えられる視点や異分野の人とコミュニケーション力や発表能力を養うことを目標とする。関係するDPおよびアウトカムの習得にあたって本講義では、以下を具体的な授業の到達目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療を取り巻く環境について調査することができる。 2) イノベーション、オープンイノベーションとは何かを説明できる。 3) バイオデザイン手法について説明できる。 4) 異分野の人とコミュニケーションについて注意すべき点を説明できる。 5) 産業界における製品開発の進め方を説明できる。 6) 知的財産権についての基本事項について説明できる。 7) 広告医学についての基本事項について説明できる。 8) テーマに応じた適切な発表方法について注意すべき点を説明できる。 9) 金融に関する基本事項について説明できる。 10) 研究と開発の違いについて説明できる。 11) 自分自身の(医療人としての)将来像を他者に理解できるように説明できる。 12) 医療とAI(人工知能)等の関係性を説明できる。 				

＜授業スケジュール＞

回	月日	テーマ・キーワード
1	4月8日	オリエンテーション 異分野とのコミュニケーション①
2	4月15日	リーダーシップ論
3	4月22日	人間中心設計とサービス共創
4	5月13日	医工連携と産学連携
5	5月20日	デザイン思考
6	5月27日	異分野とのコミュニケーション②
7	6月3日	医療現場の行動経済学
8	6月10日	ロボティクスを応用した医療ヘルスケア機器開発
9	6月17日	広告医学概論
10	6月24日	健康投資型の医療
11	7月1日	新薬開発における非臨床トランスレーショナル研究
12	7月8日	アントレプレナーシップ論
13	7月15日	滋賀県での医療イノベーションの現状と将来への期待
14	7月22日	グループワーク(4～5人/グループ)
15	7月29日	プレゼンテーション

＜教科書・参考書＞

1. 医療イノベーションの本質－破壊的創造の処方箋(碩学舎ビジネス双書) 著:クレイトン・M・クリステンセン他、訳:山本雄士他
(原著)The Innovator's Prescription: A Disruptive Solution for Health Care, Clayton M. Christensen et al.
2. BIODESIGN バイオデザイン日本語版(薬事日報社) 著:ステファノス・ゼニオス他、【監修】一般社団法人日本医療機器産業連合会他
(原著)Biodesign: The Process of Innovating Medical Technologies, Paul G. Yock et al.
3. リーン・スタートアップ ムダのない起業プロセスでイノベーションを生み出す(日経BP社) 著:エリック・リース 訳:井口耕二
(原著)The Lean Startup: How Today's Entrepreneurs Use Continuous Innovation to Create Radically Successful Businesses, Rric Ries